

## ものづくりに邁進する—舞鶴工業集積協議会の活動

# 発足以来、次々に新製品を開発 今年は「アサリ稚貝の選別—商品化」への装置

舞鶴市の“ものづくり”を牽引する企業等で組織された「舞鶴工業集積協議会」は、平成5年の設立です。当時の舞鶴市は、基幹産業の造船業が深刻な不況の中にあって、国から「特定不況地域」に指定されるという、大変厳しい経済情勢でした。

このような中、国の支援によって、造船の下請けとしてだけでなく、持てる技術を活かしながら、他の産業への転換や新技術の開発などを目指す組織として、当時の「舞鶴機械金属振興グループ」など4組織を母体として発足しました。

以来、ポリテクカレッジ京都の技術的な支援とともに、舞鶴工業高等専門学校、京都府中小企業団体中央会の協力のもとで、新しい製品開発に取

り組まれています。これまでに、「猿害防止装置」や「生竹伐採装置」、「貝殻の粉碎装置」など約20機を製作。このうち、「猿害防止装置」については、商品化に成功。実際に猿の被害を受けていた杉山地区と大波下地区で活用されました。

現在は、舞鶴市の補助金を受けながら、「商品開発、販路拡大、人材育成」を主要な事業として取り組み、商品化を目指した新しいプロジェクトが進行中です。今年、漁業者の「アサリ稚貝を出荷したい」という意向を踏まえて、アサリの稚貝を商品化するための“稚貝と砂を分離する装置”の開発に向けて、月1回のペースで検討会や試作品製作などを実施中。完成品は来年の2月に開催される「京都ビジネス交流フェア2018」への出展が予定されています。

会長の田中正明・(株)田中製作所社長は「会の運営には課題もありますが、中心メンバーの熱い思いと使命感が舞鶴の“ものづくり”を支えています。少しでも前進出来るように、組織一丸となって活動していきます」と決意を語られました。



検討と試作を重ねて製品化へ (11月15日:ポリテクカレッジ京都)

### 《舞鶴工業集積協議会の概要》

- ・会 長 田中正明 (株)田中製作所社長
- ・会 員 104事業所
- ・設 立 平成5年4月
- ・事務局 舞鶴商工会議所内 (Tel 62-4600)

## 京都府が 新しい 中小企業対策

このほど、京都府では、奨学金を返済する従業員に対して支援をしている中小企業について、新しく補助制度を創設されました。中小企業の人材確保や従業員の負担軽減などを図るもので、取り扱いなどは右のとおりです。

## 就労・奨学金返済一体型支援事業 人材確保と従業員の定着へ

- 対 象 従業員への奨学金返済支援制度を設けている中小企業など
- 支援対象従業員 ①正社員 ②就職後6年以内 ③奨学金を返済中 ④府内在住
- 補助期間 対象者1人について最大6年間
- 補助額 ・企業負担額の1/2以内 (年額の返済が1万円を超える分の1/2以内)  
・就職後1~3年目:上限9万円/人・年、4~6年目:上限6万円/人・年
- 受 付 平成30年2月28日(水)まで
- 申し込み・問い合わせ 京都府中小企業団体中央会 (Tel 075-314-7132)